

令和2年度仮決算概況

1. 損益の概要

- コア業務純益は2期連続の増益となりました。

利回りの低下により貸出金利息は減少したものの、有価証券利息配当金の増加から資金運用収益が11期振りに増加したことに加え、経費の削減に努めたことによりコア業務純益は2期連続の増益となりました。

役務取引等収益ならびに有価証券売却益等の減少により経常収益が2期ぶりに減収となる一方で、経費および不良債権処理費用の減少により、経常利益、最終利益は共に6期ぶりの増益となりました。

<単位：百万円>

	令和2年9月期	令和元年9月期	増 減	増減率
経常収益	2,010	2,091	▲81	▲3.90%
資金運用収益	1,772	1,702	69	4.06%
有価証券関係収益	13	126	▲112	▲89.12%
役務取引等収益	211	224	▲13	▲5.84%
経常費用	1,854	1,993	△139	△6.99%
経 費	1,505	1,573	△67	△4.31%
不良債権処理費用	80	152	△72	△47.55%
コア業務純益	276	137	139	101.69%
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	208	135	73	54.65%
経常利益	155	98	57	58.84%
当期純利益	100	88	11	12.70%

※不良債権処理費用は、個別貸倒引当金や貸出金償却等の個別債権に対する処理費用に、一般貸倒引当金、偶発損失引当金および償却債権取立益を加減しています。

※増減(率)欄のマイナス符号は、当該項目の減少が業績の良化要因となる場合は「△」を、悪化要因となる場合は「▲」を付しています。

2. 預貸金の概要

- 預金残高は、前期末(2年3月末)比148億3,400万円(4.78%)増加し、3,249億8,500万円となりました。

低金利環境下での金利メリットの低下から、定期性預金が19億3,800万円(1.05%)減少する一方で、新型コロナウイルス禍での社会経済活動の減速により手元流動性が増加し、要払性預金が167億7,200万円(13.20%)増加しました。

- 貸出金残高は、前期末比71億8,700万円(4.07%)増加し、1,837億3,900万円となりました。

新型コロナウイルス感染症への緊急対応として、事業者の皆さま方への資金繰り支援に注力した結果、事業性資金が95億8,100万円(9.07%)増加しました。なお、個人ローンは12億4,500万円(3.46%)減少し、地方公共団体向けも11億4,800万円(3.27%)減少しました。

なお、コロナ関連融資は10月末現在、1,371件で184億円となりました。

<単位：百万円>

	令和2年9月末	令和2年3月末		令和元年9月末	
		増減	増減率		
預金残高	324,985	310,151	14,834	4.78%	313,929
個人	228,251	222,697	5,554	2.49%	221,803
個人事業者	23,776	21,434	2,341	10.92%	21,453
法人	54,028	47,494	6,534	13.75%	51,274
公金	18,929	18,525	403	2.17%	19,398
定期性	181,218	183,157	▲1,938	▲1.05%	190,456
要払性	143,766	126,994	16,772	13.20%	123,473
貸出金事業性先数	4,129	4,148	▲19	▲0.45%	4,212
貸出金残高	183,739	176,551	7,187	4.07%	174,761
個人ローン	34,642	35,887	▲1,245	▲3.46%	36,520
住宅ローン	24,750	25,086	▲335	▲1.33%	25,453
事業性資金	115,138	105,557	9,581	9.07%	102,178
地公体向け	33,958	35,106	▲1,148	▲3.27%	36,062
預貸率	56.53	56.92	▲0.39ポイント	▲0.68%	55.66

3. 不良債権額（金融再生法開示債権）の概要

●金融再生法に基づく不良債権額は、前期末比1,300万円(0.28%)減少し48億2,000万円に、不良債権比率も0.11ポイント低下し2.55%となりました。

<単位：百万円>

	令和2年9月末	令和2年3月末		令和元年9月末	
		増減	増減率		
不良債権額	4,820	4,833	▲13	▲0.28%	5,159
不良債権比率	2.55%	2.66%	▲0.11ポイント	▲4.13%	2.87%

4. 自己資本比率の概要

●自己資本比率は、前期末比0.24ポイント上昇し13.05%となりました。

(国内基準)

<単位：百万円>

	令和2年9月末	令和2年3月末		令和元年9月末	
		増減	増減率		
自己資本額	19,301	19,164	137	0.71%	19,165
リスクアセット	147,855	149,538	▲1,683	▲1.12%	147,264
自己資本比率	13.05%	12.81%	0.24ポイント	1.87%	13.01%

5. 令和2年度業績予測

●通期でも減収増益を見込んでおります。

<単位：百万円>

	令和2年度予測	令和元年度実績	増 減	増減率
経常収益	3,996	4,235	▲239	▲5.6%
コア業務純益	517	424	93	21.9%
経常利益	268	200	68	34.0%
当期純利益	171	95	76	80.0%

当金庫の「中間決算」は仮決算のため、監査法人の監査は受けておりません。

以上